

ご挨拶

東京都高等学校文化連盟写真部門会長
東京都高等学校写真連盟理事長
常國 佳久
(東京都立多摩高等学校長)

平成29年度 第40回東京都高等学校文化祭写真部門 A・B地区大会に寄せて

「我悩み探す、ゆえに撮影する」

ご来場のみなさま、東京都高等学校文化祭写真部門A・B地区大会にお越しいただき誠にありがとうございます。

今大会の応募は、A地区29校309作品、B地区31校346作品、総数60校655作品で、昨年度より2割ほど増えています。

囲碁や将棋の世界でも人間がコンピューターに敗れるというニュースが流れています。今私たちが従事しているいろいろな仕事にも、コンピューターに取って代わられるものがたくさんあるのではと言われはじめました。私たちの近未来はいったいどんな世界なのでしょう。世の中全体に先が見通せないという不安が広がっています。

このような不確かな世界にあって、確かなものを求めるというのは私たちにとって自然なことでしょう。では、確かなものはなにか？

それは、先が見えないと感じ悩んでいる「私たち」がここにいるということでしょう。「私たち」はこの不確かな世界の中で確かなものを探して記録したい、と願っています。そのように考える「私たち」の、代表的な記録手段が「写真」でしょう。

「不確かな時代」に「確かな自分」を掴むため写真を撮影し、自分と自分に関わる事象を記録し残す。「われ悩み探す、ゆえに撮影する。」ということでしょうか。

写真が若者の自己探求に欠かせないツールになっていることをここで改めて確認したいと思います。

高校生の皆さん、これからも精進して、良い写真を追い求めていきましょう。

最後に、各学校の顧問の方々、保護者の方々、教育委員会等、日頃生徒たちをご支援・ご指導いただいている全てのみなさま、これからもどうぞ高校写真部の活躍を支えていただきますようよろしくお願いいたします。